

## 内村鑑三[明治のキリスト教思想家]

### 『代表的日本人』／『宗教座談』／『後世への最大遺物・デンマルク国の話』(岩波文庫)

### 『ぼくはいかにしてキリスト教徒になったか』(光文社古典新訳文庫)

明治維新を成し遂げることで近代社会として出発した「日本」という国家を、先進国であったヨーロッパやアメリカに紹介した代表的な名著が3冊ある。新渡戸稲造『武士道』(岩波文庫)、岡倉天心『茶の本』(岩波文庫)と内村鑑三『代表的日本人』。それだけで、読む価値があるのだがここに上げられた5人の日本人のラインナップが面白い。西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮。読んでいただければわかるのだが、実はとてもラジカルで、日本人とは思えない日本人ばかりなのだ。内村鑑三という人もそんな人の一人であった。(館長)

